

明治大学生田キャンパス内に残る

登戸研究所史跡案内



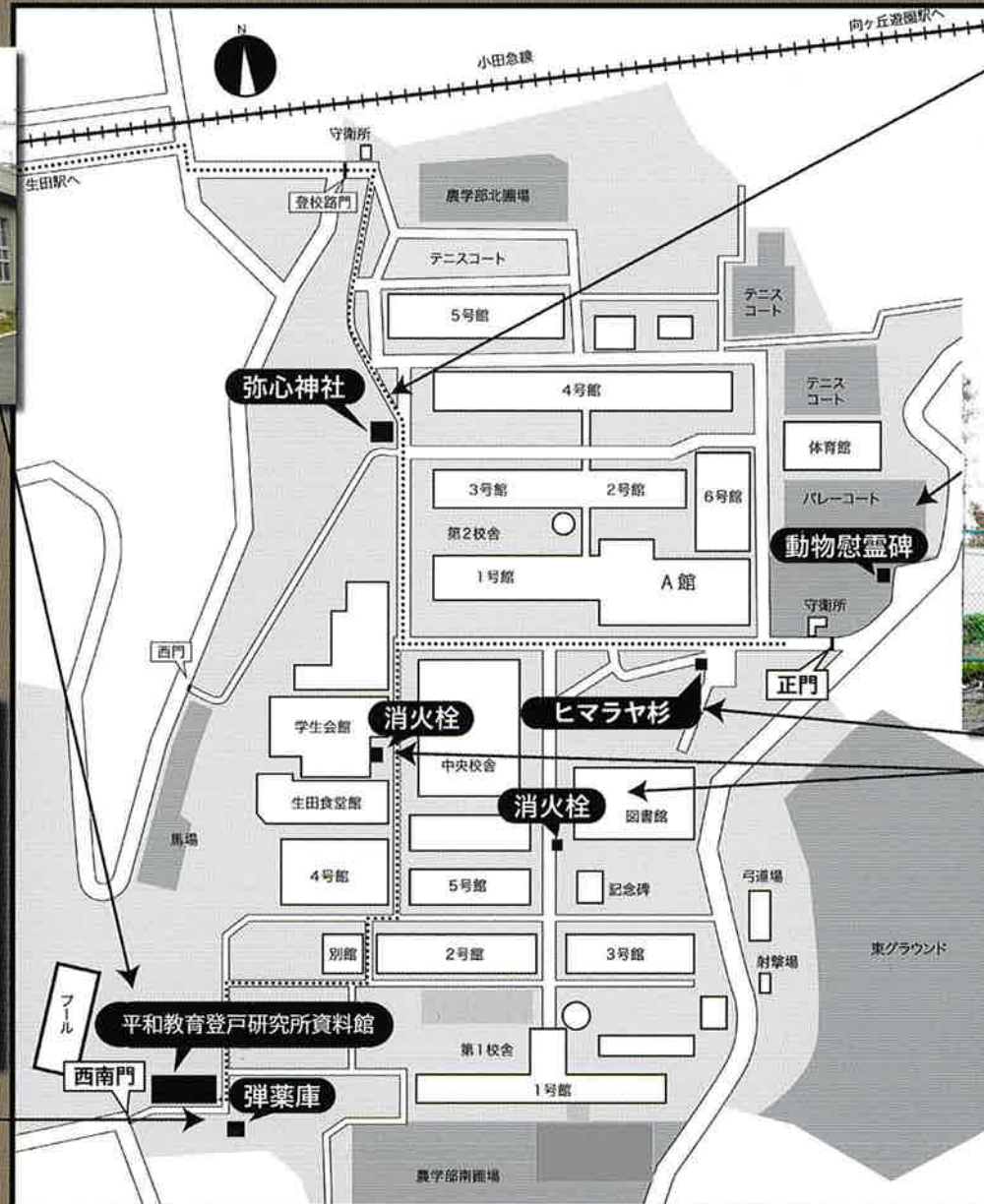
明治大学平和教育登戸研究所資料館

唯一現存する登戸研究所時代の研究施設。1936(昭和11)年～1941(昭和16)年の間に建てられた。生物兵器の研究・開発を行っていた第二科の研究棟だった。2010(平成22)年3月に資料館として開館。



弾薬庫

弾薬庫という名称は通称である。実際は薬品などを保存する倉庫だったと推測される。



生田神社 (弥心神社)

1943(昭和18)年に陸軍技術有功章の賞金を使って建立されたといわれている。戦後廃社となったが、明治大学が払い下げを受けた際に生田神社と改め豊稷の神などを祀り直した。境内には1988(昭和63)年に元所員が建立した「登戸研究所跡碑」がある。裏には元所員の長年の想いが詠まれた句が刻印されている。



動物慰霊碑

1943(昭和18)年に陸軍技術有功章の賞金を使って建立されたといわれている。高さ約3m×幅約1m(本体のみ)。



ヒマラヤ杉

登戸研究所時代にはすでにあったヒマラヤ杉。この一帯は、車寄せ・湾曲した道など、当時の姿がそのまま残っている。



消火栓

陸軍のマークである❖が見て取れる。キャンパス内に2か所残っている。